

特別養護老人ホーム入所申込者等状況調査票の記入について

1 留意事項

- (1) 令和7年4月1日現在の入所申込者等について記入願います。
- (2) 平成29年9月27日付け長第 09270001 号（別添写）にて、受付簿の精査を依頼しているところであり、精査後の受付簿に基づき記入願います。
- (3) 「特別養護老人ホーム入所申込者等調査票」の各欄に入力のうえ、電子メールにより提出してください。

2 各記入欄

(1) 入所希望者頭文字

「ひらがな」で、「姓・名の順」で記入してください。

(例) 山田太郎さんの場合、「や」・「た」と記入。

(「や」と「た」は必ず別セルに記入)

(2) 入所申出日

入所申出日を R4.1.1 の形式で記入 (半角英数字) してください。

(例) 令和4年3月1日に申込の場合は「R4.3.1」と記入。

(3) 性別

男性の場合は「1」、女性の場合は「2」を記入 (半角英数字) してください。

(4) 生年月日

生年月日を T12.10.3 の形式で記入 (半角英数字) してください。

(例) 昭和4年7月4日生まれの場合、「S4.7.4」と記入。

(5) 介護保険被保険者番号を必ずご記入願います。

(6) 住所

入所希望者の住居地の都道府県名及び市町村名を記入してください。

(7) 要介護度

要介護度1～5の数字を記入 (半角英数字)。

ただし、その他 (不明等) の場合は、「6」 (半角英数字) を記入してください。

(例) 要介護4の場合、「4」を記入。

※要介護度1～2の場合は、特例入所の対象者について記入してください。

(8) 緊急度

以下の番号を記入してください

入所の必要性が高い	1
一年程度で入所が必要となる見込み	2
特養以外で対応可能	3
その他 (必要性が低い、判断困難)	4

(9) 現在の居住場所

以下の番号を記入してください

介護老人保健施設に入所している場合	1
病院に入院している場合	2
在宅で待機している場合	3
介護医療院（介護療養型医療施設）に入所している場合	4
他の特別養護老人ホームに入所している場合	5
養護老人ホームに入所している場合	6
入所している養護老人ホームが「特定施設入居者生活介護」の指定を受けている場合	6-1
軽費老人ホームに入所している場合	7
入所している軽費老人ホームが「特定施設入居者生活介護」の指定を受けている場合	7-1
グループホームに入所している場合	8
有料老人ホームに入所している場合	9
入所している有料老人ホームが「特定施設入居者生活介護」の指定を受けている場合	9-1
サービス付き高齢者向け住宅に入居している場合	10
入所しているサービス付き高齢者向け住宅が「特定施設入居者生活介護」の指定を受けている場合	10-1
その他・不明の場合	11

(10) その他

英数字は全て半角で記入してください。

セルの結合等を行わないでください。

長第09270001号

平成29年 9月27日

各特別養護老人ホーム施設長 様

和歌山県福祉保健部

福祉保健政策局長寿社会課長

(公印省略)

特別養護老人ホーム入所申込者等状況調査に係る受付簿の精査について

平素は、本県高齢者福祉行政にご理解とご尽力を賜り、厚くお礼申し上げます。

また、平成29年3月30日付け28長第03300003号の依頼に対し、平成29年3月31日現在の入所申込者の状況をご回答いただき、併せてお礼申し上げます。

さて、当該調査は3月31日を基準日として毎年実施しており、調査結果は本県の介護保険事業支援計画「わかやま長寿プラン」策定等の重要な基礎資料となっていることに鑑み、まず、各施設からの回答結果を県において名寄せした後、平成28年3月31日現在の調査から、各市町村に対し「既に死亡」、「要介護度の変更」や「現在の居住場所の変更」等について確認を行っておりますが、施設によっては、既に死亡した人が多数受付簿に記載されているケース等が見受けられます。

つきましては、各施設においては、引き続き、定期的に入所申込者の状況確認を行うことなどにより受付簿の管理を適切に行うとともに、次期調査（平成30年3月31日現在）に向け、改めて全申込者に対し入所希望の有無や死亡等の再確認を行うなど、市町村と連携する等により、現受付簿の精査を行うようお願いいたします。

なお、各保険者に対し、別添写しのとおり通知している旨申し添えます。

担当：振興班 古川

TEL：073-441-2519

FAX：073-441-2523